



夕ネット制作部  
坂井 篤子  
平成20年卒業



朝比奈屋経営  
朝比奈勝也  
昭和58年卒業



歴史民俗研究会代表  
新本 直登  
昭和45年卒業



3年生  
千葉あおい  
忠海中学校出身



2年生  
松林昂太郎  
吉名中学校出身



2年生  
榎川 遊海  
賀茂川中学校出身



1年生  
山根 颯樹  
竹原中学校出身



“Tadako” in those days, “Tadako” in the following days

## あの日あの頃の忠高 そしてこれからの忠高

今年で創立120周年を迎えた伝統ある忠海高等学校。  
その時々の歴史から今後のあるべき姿について世代間で語り合った。

### チャンスをつかみ、今を楽しむ 坂井 篤子

私の時代は、理数科学コースを含めて学年3クラスでした。今の忠高生は当時よりさらに穏やかで真面目な印象があります。実は、今のケーブルテレビの仕事の前には管理栄養士として働いており、アナウンサーとしての今の自分は全く予想していませんでした。在校生のみなさんには、自分の目標に向かって全力で頑張ることはもちろんですが、同時に息抜きや今を楽しむことも大切にして頂きたいと思います。

### 試行錯誤、失敗こそ力なり 朝比奈勝也

学生時代は時代の雰囲気の流れに流されていたように思います。家業を引き継いでみると「何かおかしい」「うまくいかない」という現実にあふつかってしまいました。そこで、多くの人に話を聞き、本を読み、何度も試行錯誤を繰り返しました。今の忠高生のみなさんはしっかりした目標を持っていて素晴らしいと思います。10回試みて1つでも良いことをつかむ気持ちで頑張りたいと思います。

### 知的好奇心が私を動かした 新本 直登

昭和40年代は、学生運動で入試が中止になるなど騒然とした時代でした。私も世の中の不合理や理不尽さに疑問や憤りを感じながら高校時代を過ごしたように思います。今思えば高校生の頃からそして現在も私の原動力は「知りたい」という好奇心でした。みなさんも、飽くなき好奇心や感受性を大切にしてください。そして自分の周りには必ず助けてくれる人がいることも忘れないで頂きたいと思います。

### 在校生の決意、そして思い

同じ忠高生として世代を超え、腹を割って思いを語り合える貴重な時間でした。引き続き忠高の伝統を受け継ぎ、新たな時代を切り拓いていきます。

- まだ夢さがし中なので友達としっかり語り合い、自分のやりたい事は何か行動の中で見つけたい（山根）
- 先輩方のお話を聴き、忠高生としての自信や誇りを大切にしたいと強く感じた（松林）
- 様々なアドバイスを参考にこれからの自分の道を発見し、夢の実現のため今からしっかりと勉学に取り組もうと思う（榎川）
- 先輩方のエールを胸に、これからもチャレンジを続け、忠高で広がった進路の幅を大学で確かなものにした（千葉）

